

教科・科目			学科・学年	単位数	教科書
数学・数学Ⅰ			普通科・1年	3	新編数学Ⅰ（数研出版）
			普通科・1年2年	4	
科目の概要と目標			数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。		
1年	1年 2年	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	1 学期	1章 数と式	1節 式の計算 2節 実数 3節 一次不等式	・整式の展開・因数分解の方法を身に付ける。 ・実数の分類や演算を整理することができる。 ・不等式やその性質について理解し、簡単な一次不等式を解くことができる。また、身の回りの事象に一次不等式を応用し、問題に適する値の範囲を決定できる。	
	2 学期	2章 集合と命題	1 集合 2 命題と条件 3 命題とその逆・対偶・裏 4 命題と証明	・集合の意味と表し方を学び、要素と集合の関係や集合と集合の間に成り立つ関係を理解する。 ・命題の逆と対偶や、対偶や背理法を用いた証明法を身に付ける。	
2 学期	3 学期	3章 二次関数	1節 二次関数とそのグラフ	・中学校で学習した関数を基にして二次関数のグラフを書くことができる。 ・二次関数の式とグラフとの関係やグラフの変化を情報機器を用いて理解する。	
	2 年 1 学期		2節 二次関数の値の変化	・二次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・二次方程式と二次関数のグラフのx軸との共有点との関連を理解する。	
			3節 二次方程式と二次不等式	・二次不等式を二次関数のグラフを基に解くことができる。	
	2 学期	4章 図形と計量	1節 三角比	・三角比としてのtan,sin,cosの意味を理解し、直角三角形の辺と角の関係を理解する。また、それらを0°、90°、180°の場合に拡張したうえで、三角比の相互関係を理解する。	
3 学期	3 学期		2節 三角比への応用	・正弦定理と余弦定理、三角形の面積を求める公式を理解し、三角形や正四面体の辺の長さや角の大きさなどの求める方法を身に付ける。	
		5章 データの分析	1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分数と標準偏差 5 2つの数量の間の関係 6 仮説検定の考え方	・代表値の意味と計算方法を理解し、それらの特徴を生かしてデータの傾向を捉えることができる。 ・四分位数や箱ひげ図を用いて、複数のデータを比較できる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。	